

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立内子高等学校小田分校
学校番号 (33)

評価実施日	令和6年2月20日(火)		
委員	氏名	所属等	備考
	筒井 光夫	寺村自治会長	地域住民
	成田 尚哉	内子町教育委員	地域有識者
	泉 徹	内子町商工会副会長	地元企業
	岡田 拓也	小田中学校教頭	地域中学校
	寺岡 和一	P T A会長	保護者

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営</p> <p>どの評価項目においても肯定的な評価の割合が高く、学校経営がしっかりと進められていると考える。小田分校を存続していくために、入学者確保の可能な限りの取組をお願いしたい。</p> <p>今後も地元の幼稚園、小学校、中学校との交流や地域との交流を大切にしていきたい。様々な教育活動を通して学校魅力化の更なる推進を図り、生徒、教職員、保護者ともに積極的に学校PRを行っていただきたい。</p> <p>(2) 学習指導</p> <p>家庭学習時間が減少傾向にあるように見受けられるが、生徒のやる気を引き出すことができるよう指導方法の見直しを検討してみようか。</p> <p>少人数指導や個別指導は小田分校の良さであるが、熱心に指導するあまり、教員の負担になりすぎないようお願いしたい。</p> <p>(3) 生徒指導</p> <p>服装や挨拶等において、小・中学校の手本となる存在であってほしい。人数が少ない中で、生徒それぞれが個性を発揮して様々な分野で活躍しているのは、教職員の指導も含めて素晴らしい。</p> <p>生徒の精神的な不安を取り除くことができるよう、保護者と学校が一体となって育成をお願いしたい。他地域から来ている生徒も多いが、自然豊かな環境の中で伸び伸び成長し、豊かな人間性と社会性を身に付けた生徒を育成していただきたい。</p> <p>(4) 進路指導</p> <p>進路指導の充実、中学生が高校を選択する上で重要なポイントだと考える。人生を大きく左右する問題であり、個人の特性等を見極めて慎重に対処してほしい。</p> <p>地域的に進学や就職に関する情報を得ることが難しかったり、意識が低かったりすることが考えられるが、生徒はもちろん、保護者への情報提供や保護者との相談の機会を大切にしたい。</p>	<p>魅力化推進校として、地域と一体となった取組を大切にしつつ、学校設定教科「探究」や起業家教育プログラムなどの教育活動を通して生徒の人間力を高め、小田分校の更なる魅力化を図っていききたい。また、入学者確保に向けて、内子町と連携しながら寮生活の更なる充実を図るとともに、地域みらい留学や学校ホームページ等の様々な手段を用いて、生徒の生き生きとした教育活動を県内外に発信していきたい。</p> <p>習熟度別講座編成による「分かる授業」を目指した学習指導を継続するとともに、与える課題の内容や提出方法を工夫するなどして、学習習慣の定着に向けて取り組むたい。また、ICT機器の活用やデータの蓄積を行いながら業務効率化を図りつつ、充実した教科指導を行っていききたい。</p> <p>生徒が安心して学校生活を送ることができるよう教職員、保健室、S L A、保護者が情報交換を密にし、つながることで、相談しやすい環境や体制を整備する。生徒指導については、規律指導と心の教育の両輪で生徒の実態に応じた心温まる指導をしていきたい。また、小田寮が1棟新築されたことに伴い、今後寮生の増加が見込まれる。生徒が心身ともに健康な状態で寮生活を送ることができるように、内子町とも連携を図りながらサポートを強化していきたい。</p> <p>生徒の希望や適性に合った進路指導が行えるように、外部講師による講演会や各種ガイダンスなどのキャリア教育を更に充実させていきたい。また、個別指導やオンラインを活用した進路相談等の企画を引き続き行い、早い時期に進路意識を高めさせることができるよう工夫するとともに、生徒や保護者が必要とする進路情報を調査し、積極的な発信に努めたい。</p>
<p>2 その他(本校教育全般について)</p> <p>小田分校の生徒の頑張る姿やそれを支える教職員の姿に地域の一員として勇気やエネルギーをもらっている。今後も地域住民との交流活動を積極的に行っていただきたい。</p>	<p>地域の方々との交流活動や地域イベントへの参加を計画的に行い、学校外においても生徒の学習成果をアウトプットする機会を積極的に設けていきたい。</p>